

# 哲 学

教 授 田 辺 正 英

## ◆ 研究概要

- 1) 人間における実存と安らぎの問題
- 2) 日本仏教における親鸞や蓮如の思想を通しての罪や悪と救済の問題
- 3) キリスト教における罪と救済の問題
- 4) 西田哲学や田辺哲学の絶対無の問題

## ◆ 原 著

- 1) 田辺正英：O. F. ボルノーにおける人間の生と宗教。宗教研究（日本宗教学会編）58(4)：66—67, 1985.
- 2) 田辺正英：O. F. ボルノーにおける生と宗教，—W. デイルタイに関連して—。富山医科薬科大学一般教育研究紀要 第7号：1—14, 1985.
- 3) 田辺正英：親鸞における信と倫理の構造—田辺哲学に関連して—：如是我聞（富山仏教会編）第3号：4—7, 1985.

## ◆ 学会報告

- 1) 田辺正英：日本人の死生観—医学と宗教に関連して—。臨床遺伝研究会 1985, 6, 富山市.
- 2) 田辺正英：日本人の死生観—医学と宗教に関連して—。臨床遺伝研究（臨床遺伝研究会編）144—149, 1985.

# 歴 史 学

助 教 授 小 沢 浩

## ◆ 研究概要

近代日本民衆宗教史研究の一環として、本年度は特に、以下の研究課題に取り組んだ。

- 1) 金光教における教団及び信徒達の戦争体験の意義について、この一部は、「戦争と信仰」と題して、一般教育研究紀要第8号に掲載の予定。
- 2) 近代民衆宗教における靈魂観の変遷について、これは、「霊と近代」と題して、大系『日本人と佛教。第2巻『国家と天皇』（春秋社、本年7月刊行予定）に発表の予定。
- 3) 近代民衆宗教における『生き神思想』の史的位置づけについて、これは、「民衆宗教の深層」と題して、講座『日本の社会史』第8巻（岩波書店、本年11月刊行予定）に発表の予定。

このほか、地域史研究にかかわるものとして、茨城大学大江志乃夫教授、大阪大学黒田俊雄教授らによる、庄下村兵事係関係資料の調査に参加した。

# 法 学

助 教 授 阿 原 稔

## ◆ 研究概要

従来からの(イ)「医療保障」論と、(ロ)「医(業)事法」の研究をおこなっている。前者は、社会保障法における医療保障の理念と体系を考察するものであり、後者は、独自の法領域としての「医(業)事法」の体系化を意図するものである。

# 心 理 学

助 教 授 桜 井 芳 雄

## ◆ 研究概要

動物の作動記憶の神経機構について、主に皮質—視床系ニューロン活動の定性的解析により検討する。

## ◆ 原 著

- 1) 杉本助男、桜井芳雄、堀忠雄：低酸素環境におけるラットのオペラント行動と馴化過程。宇宙航空環境医学 21：40—48, 1985.
- 2) Sakurai Y. and Sugimoto S.: Effects of lesions of prefrontal cortex and dorsomedial thalamus on delayed Go/No-Go alternation in rats. Behavioural Brain Research 17:213—219, 1985.
- 3) 堀 忠雄、桜井芳雄、杉本助男：閉鎖環境条件下におけるウルトラディアンリズムと対人同調現象。情報行動科学研究 9：55—67, 1985.

## ◆ 学会報告

- 1) 桜井芳雄、杉本助男：ラットにおける continuous nonmatching-to-sample 課題の遂行と前頭前野一背内側視床のニューロン活動。日本動物心理学会第45回大会, 1985, 5, 滋賀.
- 2) 桜井芳雄、杉本助男：鏡映像変化事態におけるデンショバトの schedule-induced attack. 日本基礎心理学会第4回大会, 1985, 6, 名古屋.
- 3) 桜井芳雄：記憶から運動への機能的階層性と皮質—視床系。日本生理心理学会第3回大会, 1985, 6, 東京.
- 4) Sakurai Y.: Neuronal activity of prefrontal cortex and dorsomedial thalamus during a conti-

nuous nonmatching-to-sample task in the rat.  
15th Annual Meeting Society for Neuroscience,  
1985, 10, Dallas.

5) 桜井芳雄：ラットの音の作動記憶過程における前頭前野と背内側視床のニューロン活動。第9回神経科学学術集会, 1985, 12, 東京。

## 数 学

教 授 白 井 進

### ◆ 学会発表

1) 白井 進：The main theorems of Furtwängler on Fermat's last theorem. 日本数学会代数学分科会, 1985, 4, 東京。

2) 白井 進：On the p-rank of the relative class groups of certain Galois extensions. 日本数学会代数学分科会, 1985, 4, 東京。

3) 白井 進：Fermatの定理「 $p \equiv 1 \pmod{4} \Rightarrow p = a^2 + b^2$ 」における  $a, b$  の素数  $q \equiv 3 \pmod{4}$  による整除性について。日本数学会代数学分科会, 1985, 10, 富山。

### ◆ 研究集会

1) 白井 進：ガロア拡大の相対類群の p-rank. 京都大学数理解析研究所研究集会「代数的整数論」, 1985, 10, 京都。

## 物 理 学

教 授 林 光 彦  
助 教 授 豊 富 誠 三  
教 務 員 田 村 一 郎

### ◆ 研究概要

金属-半導体コンタクトが強電場において呈するブレイクダウン現象の発生機構を明らかにするため、パルス光照射によって助長されるブレイクダウンの過渡的過程を電気伝導およびルミネッセンス測定によってしらべている。(豊富)

### ◆ 学会報告

1) 田村一郎, 林光彦：磁場中での酸化鉄微粒子のメスバウア効果。日本物理学会秋の分科会, 1985, 10, 千葉。

## 化 学

教 授 永 田 正 典  
助 教 授 廣 上 俊 一  
教 務 員 高 橋 たみ子

### ◆ 原 著

1) Hirokami S., Takahashi T., Kurosawa K., Nagata M. and Yamazaki T.: Photochemistry of 4- Pyrimidinones. Isolation of Dewar Isomers. J. Org. Chem. **50**: 166-169, 1985.

2) Takahashi T., Hirokami S., Nagata M. and Yamazaki T.: Photochemistry of 4- Pyrimidinones in Aqueous Solution. Isolation of Reversible Photohydrates. Tetrahedron Lett. **26**: 3247-3250, 1985.

### ◆ 学会報告

1) 高橋たみ子, 廣上俊一, 永田正典, 山崎高應：Dewar 4-Pyrimidinone と硫化水素およびメタンチオールとの反応。日本薬学会第105年会, 1985, 4, 金沢。

2) 廣上俊一, 高橋たみ子, 永田正典, 山崎高應：光化学的に生成する Dewar 4-Pyrimidinone とカルボン酸の反応機構。日本薬学会第105年会, 1985, 4, 金沢。

3) Takahashi T., Hirokami S., Nagata M. and Yamazaki T.: Photochemical Reactions of 5-Methyl-4-Pyrimidinones in Acetic Acid. XIIth International Conference on Photochemistry, 1985, 8, Tokyo.

4) Hirokami S., Takahashi T., Nagata M. and Yamazaki T.: Rearrangement of Dewar 4-Pyrimidinones to  $\beta$ -Lactams Containing an Exocyclic Double Bond. XIIth International Conference on Photochemistry, 1985, 8, Tokyo.

## 生 物 学

教 授 本 田 昂  
教 授 菅 野 延 彦  
教 務 員 益 見 厚 子

### ◆ 著 書

1) Tazawa K., Nagase T., Kasagi T., Maeda M., Sawataishi M., Odagiri H., Shinbo T., Karaki Y., Fujimaki M. and Honda T.: Intracellular hyperthermia for the treatment of cancer (I):